

第5回中学生交流プログラム
【ベトナム】

平成25年10月5日～10月12日

使節団派遣実施報告書

平成25年11月22日



一般社団法人国際フレンドシップ協会

も く じ

口絵 (1)~(2)

まえがき

I. 「第5回中学生交流プログラム」について	2
II. ベトナム訪問団日程	3
III. 団員名簿	4
IV. 活動の記録	5
・ 2013年10月5日 結団式、事前研修	
・ 2013年10月6日 ベトナム到着、ハノイ市内見学	
・ 2013年10月7日 国際交流基金 ベトナム日本文化交流センター ならびにベトナム教育訓練省表敬訪問	
・ 2013年10月8日 空路ダナンへ移動、途中、ホイアン市内見学	
・ 2013年10月9日 フェ市中学校訪問、交流、日本文化紹介	
・ 2013年10月10日 フェ市内見学後、ハノイへ移動 ハノイ市中学校でホストファミリーと対面 ホームステイ開始	
・ 2013年10月11日 ハノイ市中学校訪問、交流、日本文化紹介	
・ 2013年10月12日 ホストファミリーとの別れ、帰国、解団式	
V. 感想文	11
・ 中学生交流プログラムに参加して	藍口 玲菜 11
・ 中学生交流プログラムに参加して	新井 菜々美 11
・ ベトナムを訪問して	小野 由美子 12
・ 中学生交流プログラムに参加して	川下 玲 13
・ 中学生交流プログラムに参加して	佐藤 純 14
・ 中学生交流プログラムに参加して	山藤 千穂 14
・ ベトナムへの研修旅行	ソロキン 路彦 15
・ 中学生交流プログラムに参加して	渡邊 駿介 16

奥付

ハノイ市 リー・トゥオン・キエット 中学校訪問、交流、日本文化紹介、ホームステイ



↑ホスト宅へバイクで
←校舎 ホスト生徒→
生徒と交流 ↘



↑日本文化紹介

フエ市グエン・チ・フォン中学校訪問、交流、日本文化紹介



教室で交流



→新設校舎

日本文化紹介



ハノイからフエへ。途中、ホイアンの教会見学



10月5日、事前研修、決意の言葉



2013/10/05

10月6日、ベトナム、ハノイ到着



各所にホーチミン像



ベトナム教育訓練省表敬訪



現地協力機関

国際交流基金日本ベトナム文化交流センター訪問



自転車、バイク、人と車



中国、フランスの影響を感じる建物、それらすべてがベトナム文化



水上人形劇

食事と果物



解団式を終えて



2013/10/13

まえがき

「第5回中学生交流プログラム」(ベトナムへの派遣)は、公益財団法人かめのみ財団の支援を得て、当一般社団法人国際フレンドシップ協会が企画・実施運営を行い、2013年6月に派遣団員の募集を開始し、日本全国から応募の中、書類審査と面接審査を経て、8月に8名の団員が決定しました。

本交流プログラムは海外研修と位置づけられ、出発前日に集合し1泊2日の事前研修と7日間の現地研修から成ります。本小冊子では、参加団員が研修の一環で分担した曜日ごとの報告と全体の感想文を取りまとめ、記録とします。

参加団員には、本記録により、訪問先で出会ったベトナムの人々や温かく迎え入れてくれたハノイとフエの中学校、そしてホストファミリーの皆さんに改めて感謝の気持ちを感じ、その折に各自が考え、誓ったことをもう一度、心によみがえらせてほしいと思います。さらに、8名の団員それぞれが何を思い、感じていたかを慮る機会になれば幸いです。

Web等を通じて本小冊子をご覧になられた皆様、どうぞ、ベトナム、そしてベトナムの人々を身近に感じ、今後、さらに興味をもつように、そしてご自身の国際交流に対する考えや思いを再認識する機会になれば嬉しく、スタッフ一同、心より願っております。

2013年11月

一般社団法人国際フレンドシップ協会

I. 第5回中学生交流プログラムについて

一般社団法人国際フレンドシップ協会（IFA）では、29年間、「ジュニア大使友情使節団」（小学5年生から20歳未満の学生）の海外派遣を訪問先公的機関の後援で行っており、また、23加盟国・地域から成る、アジア・太平洋国会議員連合（APPU; ASIAN-PACIFIC PARLIAMENTARIANS' UNION）中央事務局の運営を行っており、日本とアジア・太平洋地区の友好、交流の促進のために活動しています。そうした経験により、平成22年度に「中学生交流プログラム」の実施運営を始めました。

「中学生交流プログラム」は、公益財団法人かめのり財団（財団名は創設者の康本健守〈やすもとけんもり〉の父・亀範〈かめのり〉に由来する）の活動資金により実施しています。同財団の活動目的は、日本とアジア・オセアニアの若い世代との交流を通じて、未来にわたって日本と各国との友好関係と相互理解を促進するとともに、その懸け橋となる人材の育成を図ることにあります。

第1回（平成22年3月）は中国に中学生7名、第2回（平成22年10月）に中学生8名を韓国に、第3回（平成23年10月）は中学生5名をマレーシアに派遣しました。第4回よりは招聘も開始し、中学生7名を台湾に派遣し（平成24年10月）、台湾より中学生8名を招聘しました（平成24年11月）。

平成25年度の第5回は、本年が日本との外交関係樹立40周年を迎えるベトナムに、一般公募により選抜した日本の中学生を派遣するとともに、ベトナムの中学生を日本に招聘しました。ベトナムへの派遣では、同世代の少年少女や現地の人たちと様々な形で交流し、相互理解を図るとともに、外国語を学ぶことの意義や異なる文化の中でのコミュニケーションの重要性、さらにはベトナムの歴史、社会、文化等に対する理解を深めました。また、ベトナムの中学生招聘では、日本人、日本の社会に対する理解を深めてもらいました。

■関係機関

支 援	公益財団法人かめのり財団
実 施	一般社団法人国際フレンドシップ協会
協 力	独立行政法人国際交流基金ベトナム日本文化交流センター ベトナム政府（ベトナム教育訓練省）

■実施期間

<派遣>	平成25年10月5日（土）前泊（事前研修） 平成25年10月6日（日）～13日（日）。現地研修、全8泊9日
<招聘>	平成25年11月10日（日）～18日（月）全8泊9日

■団員

<派遣>	8名 日本の中学生（全国、書類・面接審査を経て団員決定）
<招聘>	8名 ベトナムの中学生（ベトナム教育訓練省にて推薦校を選抜）

Ⅱ. ベトナム訪問日程

	月日	都市	時間	交通	内容	宿泊
1	10/5 土	成田	13:00		集合、結団式 事前研修（ベトナム事情、国際マナーとエチケット、渡航安全対策、日本文化紹介練習等）	成田・ホテル泊
2	10/6 日	成田 ハノイ	10:30 14:20	VN311 (JL5001) 専用バス	成田空港発、空路ハノイへ 空港着後、ホテルへ 市内見学	ハノイ・ホテル泊
3	10/7 月	ハノイ	終日	専用バス	市内見学（歴史、文化、産業） JF ベトナム日本文化交流センター表敬訪問 ベトナム教育訓練省表敬訪問 伝統芸能水上人形劇鑑賞	ハノイ・ホテル泊
4	10/8 火	ハノイ ダナン (ホイアン) フエ	11:00 12:15 夕刻	専用バス 空路 (exVN1515) 専用バス	ホテル発、地方都市へ ハノイ発 着後、ダナン市内見学後、 古都フエへ	フエ・ホテル泊
5	10/9 水	フエ	終日	専用バス	フエ市グエン・チ・フオン中学校 訪問（交流と日本文化紹介）	フエ・ホテル泊
6	10/10 木	フエ ハノイ	午前 15:50 17:00	専用バス 空路 (exVN1520)	世界遺産の町フエ 市内見学 （阮朝王宮、博物館、市場等） 空路ハノイへ移動 ホストファミリーとの対面式 ホームステイ	ホームステイ
7	10/11 金	ハノイ	終日 夕刻		ハノイ市リー・トゥオン・キエット 中学校訪問（交流と日本文化紹介） ホームステイ	ホームステイ
8	10/12 土	ハノイ	終日 夕刻 23:30	専用バス JL752 (VN3310)	ホストファミリーと過ごす ホストとのお別れ夕食会 ハノイ発、空路成田へ	機中泊
9	10/13 日	成田着	06:55		空港にて解団式 解散	

Ⅲ. 団員名簿

NO	氏名	男女	年齢	都道府県	学校名	学年
1	藍口 玲菜	女	14	静岡県	加藤学園暁秀中学校	3年
2	新井 菜々美	女	13	東京都	東京都港区立港南中学校	2年
3	小野 由美子	女	15	神奈川県	カリタス女子中学高等学校	3年
4	川下 玲	女	14	東京都	桐朋女子中・高等学校	2年
5	佐藤 純	男	13	神奈川県	神奈川県立平塚中等教育学校	2年
6	山藤 千穂	女	15	広島県	広島市立翠町中学校	3年
7	ソロキン 路彦	男	14	広島県	広島市立庚午中学校	2年
8	渡邊 駿介	男	14	静岡県	加藤学園暁秀中学校	3年
9	団長 山本 伸	男			一般社団法人国際フレンドシップ 協会講師	

IV. 活動の記録

◆2013年10月5日（土） 結団式、事前研修

本日、団員たちと会いました。ほとんどが初対面で、全員がお互いを知ったばかりの部屋は張り詰めた空気が漂っていました。私も前日までは1週間トラブルが起きないか、団員たちと上手くやっていけるかなど、不安と緊張で胸がいっぱいでしたが、自己紹介や事前研修（国際マナーとエチケット、英語のワンポイントレッスン、ベトナムについて、文化紹介の練習など）を終えると、次第に肩の荷がおり、今朝の私たちの様子が嘘だったかのように打ち解けました。夕食でテーブルマナーを学ぶ時間は笑いが絶えないくらい楽しいひと時でした。

無事仲良くなれた団員と明日からベトナムで助け合い、協力し合い、沢山の力をお借りして、言語や文化の壁を乗り越え、より多くの現地の方々と交流し、お互いの文化を尊重しあいたいです。そしてこれが少しでも日越関係を良くする第一歩にしていきたいと思います。

（藍口 玲菜）

◆2013年10月6日（日） ベトナム到着

2日目。私たちは待ちにまったベトナムのハノイに到着しました。初め、空港から出たときはベトナムの特有のにおいにとまどいましたが、少し時間がたつとそのにおいにも慣れ日本とは全く違う景色を楽しむことができました。

車での移動中、私は驚いたことがありました。それはCanonやLOTTE、TOTOなどの日本の会社のかんばんがたくさんあったことです。さらに周りをよく見ると走っている車やバイクの多くはTOYOTAやHONDAの自動車ほとんどでした。

ベトナムに来て初めて食べたものは定番である生春巻きや空心菜のニンニク炒め、フォーなど有名な料理が多く、日本人の私たちにも食べやすかったため、あまり残したりせずおいしくいただくことができました。途中で水を追加で4つ頼んだつもりがベトナム語で同じ「フォー」という発音のスイカジュースが出てきてしまったのも良い思い出です。

午後のハノイ市内見学は日本との違いに驚かされる出来事の連続でした。1つ目は、車ではなく8割の人がバイクで移動していることです。ベトナムでは車が高いため、バイクを買う人が多いことが分かりました。そのため、思わずせきこんでしまうほどの排気ガスが出るためバイクに乗っている人の中にはマス

クをつけている人もたくさんいました。

2つ目は、道路に信号と横断歩道がないことです。つまり、反対側の歩道へ行きたい場合も自動車は止まってくれないのでよく注意しながら渡らなければなりません。なので、山本先生が教えてくださったように渡るときは歩くスピードを変えず、ゆっくり歩きました。そうすると自動車の方が歩行者に合わせてくれるので、初めはこわいと感じた道路も今では落ち着いて慎重に渡れるようになりました。

この2つ以外にも日本とベトナムの違いはたくさんありましたが、これらの環境や文化の違いを受け入れることが国をこえて仲よくなり、これから一緒に世界をつくっていく仲間との絆を深められる第一歩だと思います。

(新井 菜々美)

◆2013年10月7日(月) ホーチミン廟、ホーチミン博物館、一柱寺見学
教育訓練省、JF 日本文化交流センター表敬訪問
タンロン水上人形劇見学

今日はまず朝にホーチミンさんのお墓へ行きました。お墓の前にはいかにも強そうなガードマンが2人いて何時間かごとに交代しているようでした。そこから歩いて10分程の所に博物館がありました。行く途中に傘が売ってあったので全員お揃いで買いました。日射病予防になりました。

その後、お寺へ行きました。お花で漢字が形づくられていて綺麗でした。昼食はベトナム料理で、最初に出たかき玉汁のようなものがとてもおいしかったです。しかし、デザートのパイイヤは独特な味がしました。

午後は表敬訪問がありました。私はあいさつの係だったのでとても緊張しましたがきちんと言えたので良かったです。そのとき、明日からフエを案内してくれる国際交流基金の藤田さんに会いました。優しそうで嬉しかったです。そして、本日の一大イベントの水上人形劇を観ました。よく見ているとしくみがわかってきてとてもおもしろかったです。最後は夕飯です。夕飯は中華料理で最後に出たごまだんごが美味しかったです。

今日はとても充実した一日でした。明日フエに行くのがとても楽しみです。

(小野 由美子)

◆2013年10月8日（火） ダナン チャム彫刻美術館、大聖堂見学
フエ到着

私たちは今日、国内飛行機でハノイからダナンに向かいました。着くのに1時間かかりました。ダナンに着くとみんなおどろいていました。そこにはハワイにあるようなヤシの木ととてもきれいな空港が見わたせました。ダナンの空港に着いてグエンさんというガイドさんと会いました。

ダナンではまず博物館へ行きました。そこには昔の遺跡がたくさんありました。中でも私が一番気になったのは頭がぞうで体が人間の形をしている遺跡です。博物館を見た後はバスで2時間かけてフエに到着しました。フエはハノイとはまた違う美しさが町にありました。人々がたくさん話をしたり、サッカーをして遊んだり、と交流を深めていました。知らない人とすぐに一緒に会話ができるのがベトナムのいいところなのだなと思いました。

夜はセンチュリーホテルに泊まりました。リゾートホテルだったのでみんなきれいさにびっくりしてはしゃいでいました。夜は11時くらいに寝ました。

明日はフエの中学校を訪問する予定です。

(川下 玲)

◆2013年10月9日（水） グエン・チ・フオン中学校訪問、文化紹介
ドンバ市場見学

今日はフエにあるグエン・チ・フオン中学校を訪問した。先生方や中学生のみなさんが笑顔と拍手で「こんにちは」と歓迎してくださったので、緊張が一気にほぐれた。

私たちはまず初めに校長先生にお話を伺い、その後、生徒のみなさんに学校案内をしていただいた。校舎は今年の8月に完成したばかりで、近代的な造りだった。午前中に参加した日本語と化学の授業では、ベトナムの中学生がとても積極的に発言をされていて、私も見習いたいと思った。

休憩時間になると日本語で「日本のことが好きだ」、「日本に行ってみよう」と話してくださり嬉しく思った。昼食時には先生方や生徒の皆さんとお互いの学校や国について日本語にベトナム語と英語を交えて話した。ベトナムの中学生の間ではバトミントンや羽のついた物を蹴る遊びが人気だそうだ。

午後の文化紹介では茶道、書道、けん玉、あやとり、篠笛、切り紙をそれぞれが披露し、全員で「さくらさくら」と「ふるさと」を合唱した。準備が間に合わなかったところもあったが、団員全員で協力して文化紹介を成功させることができた。

学校を出る際にはみんなで写真を撮るなどし、別れを惜しんだ。それからドンバ市場へと向かった。ここはフエで随一の規模を誇る市場で、食料品や日用品、お土産になる物もそろっていた。通路が迷路のように入り組んでいて迷いそうだった。

ベトナムの中学生との交流など、貴重な経験ができた一日だった。

(山藤 千穂)

◆2013年10月10日(木) グウェン朝王宮、王朝美術館
ホームステイ

10月10日は朝センチュリーホテルを出てまずグウェン王宮に行きました。王宮ではいろいろな建造物を見学しました。しかし王宮の入り口の上にある建物が工事中で見ることができなかつたのが残念でした。また戦争の空爆で壊れてしまった建物が10~15年後に再建して完成するそうなので、完成したらまた行ってみたいと思いました。王宮に行った後はグウェン王宮の王が使っていた器や机などがある博物館に小型のバスで行きました。

博物館ではガイドのグエンさんの案内のもと、王が使っていたとてもきれいな品々を見ました。それは昔の物とは思えないものでとても感動しました。その後ハノイへ帰るため空港へ向いました。空港に着いたらガイドのグエンさんに別れを告げハノイへ飛び立ちました。

ハノイに着いたらすぐに中学校へ向かいました。学校で30分ほど待ちホストファミリーと会いました。ホストファミリーとあいさつをして各家庭へ行きました。各家庭で楽しく夕食を食べてからいろいろと会話をしました。

(佐藤 純)

◆2013年10月11日(金) リー・トゥオン・キエット 中学校訪問
交流と日本文化紹介

今日は、ハノイでの文化紹介と同時にホームステイの2日目で朝からホストファミリーとともに生活できた日でした。ハノイの中学校での文化紹介ではフエと違って客席との距離が近く、部屋のスペースの関係で段取りも早くしないといけませんでした。最初の茶道と書道が成功したことにより嬉しい半分、僕が失敗してはいけないという重圧も生まれていた中で、けん玉で「もしもしかめよ」をしているときに失敗してしまいました。そして最後の技も2回失敗してしまいましたが、フエのときは1回で成功したことにより普通に見えてしまいましたがハノイではその分だけ難しいというのが分かってもらえたのでとて

も嬉しかったです。

そして僕が一番嬉しかったのは「ふるさと」などの合唱です。僕はフェでの失敗を繰り返さないようにと頑張りました。“One for all, all for one”が歌い終わったときに出来たなと思いました。一人ひとりが頑張った成果だと思いました。そしてベトナムの子どもたちの「よさこい」を見て、何故かすごく感動しました。こうして文化紹介が終わりました。

次はホームステイについてです。僕のホストファミリーとは1日目から仲良くなっていました。そうして迎えたホームステイでは新しいことが盛り沢山でした。朝にフォーを食べた後にバナナをゴンというコーンフレークではなく、グラノーラに近いものをつけて食べました。僕は、朝の時点ではそれが1番印象的でした。バイクに乗って学校へ行きました。涼しいのでいいなと思いました。夜にはバイクでショッピングの下見をしに行きました。すごく楽しかったです。

今日1日でも日本とベトナムの違いが盛り沢山でした。明日が最終日なのでもっともっと違いを発見して帰りたいです。

(ソロキン 路彦)

◆2013年10月12日(土) ホストファミリーとの別れ、帰国、解団式

今日はベトナム最終日でした。ホームステイ先での2日目の夜を終えて各家庭で朝食をとりました。僕の家では歩いて屋台まで行き、ベトナムの伝統料理フォーを食べました。昨日も気付いたのですが、今日も料理の量がとても多いことに気付きました。なので、食べ終わったときには、おなかがふくれあがっていました。朝食の後はホームステイバディーのミン君のヘアカットに付き合っ、家へ歩いて帰りました。

家に帰ったらホームステイ先のお母さんにミュージアムへ行く、と言われました。僕は5日位前に行ったホーチミン博物館だと思い、バディーに言ってみたら違う所だよ、と言われ安心しました。が安心しきれなかったので不安を少し持ちつつ、車に乗りました。すると着いた所は、見たことのない白色の建物で、しかもそこには他の団員の姿がありました。後で知ったのですが、ホストマザー、ファザーたちが話をしてくれて皆で集まることになっていたそうです。そして団員とホストファミリーが全員そろったところで、博物館の中に入りました。その博物館はハノイ博物館といってハノイの歴史を学ぶことが出来ました。博物館の後はレストランに行って、またみんなと一緒に食べました。ベトナム料理のコースで、どれもとてもおいしかったです。

食事の後は各家庭ずつ過ごすことになりました。僕はバディーのミン君と一

緒にショッピングをしました。お菓子やお土産をたくさん買うことができよかったです。その後、家に帰ったらホストファーザー、マザーが僕にたくさんお土産を買って待っていました。バナナなどおそらく税関で引かかるであろうものもありましたが断りきれませんでした。

最後に食事会に参加しました。とても短い時間でしたがすごく楽しめたと思います。最後の別れのときは、やっぱり悲しかったです。たった 2 日間だったのでもっとホームステイしたかったです。ですがたった 2 日間でこんなに深く交流できたんだと思うと、自分でもすごいな、と思います。

その悲しい別れの後、バスで空港に行き、荷物を整理し、ガイドのバウさんと別れ、ベトナムのドンを使い果たして、今、僕たちは飛行機に乗っています。この 1 週間が過ぎるのがとても速かったと思います。それほど充実していたのかなと思い、また行きたいと思いました。

(渡邊 駿介)

V. 感想文

中学生交流プログラムに参加して

静岡県・加藤学園暁秀中学校 3年
藍口 玲菜

この7日間のベトナム研修を終え、私は主に二つのことを学びました。

一つ目は、世界遺産などを見に行き、ベトナムの歴史をより深く学べたことです。これらの建築建造物はフランスや中国の面影を感じられ、支配されていた当時の情景が目には浮かびました。歴史を現地で体感することに大きな意味を感じました。

二つ目は、私がどれだけ恵まれた環境にいるのかを、実感したことです。私が2日間お世話になったホームステイの家は、車はなく、お風呂やシャワーもありませんでした。家は交通の多い大通りの近くにあり、朝の6時から夜の11時までクラクションなどの騒音が聞こえました。さらに交通量が多いため、食事は排気ガスの中で食べているようでした。このような環境で暮らしたのは初めてで、戸惑いもありましたが、とてもいい経験になったと思っています。

そして、日本で、何不自由ない生活を送っているのは、周りの人々に支えられているからだと気づきました。これからは父や母をはじめ、先生や友だちなどお世話になっている方々全員に感謝して生きていこうと思いました。

この研修でベトナムの文化や生活を学び、私の視野が広がりました。さらに、日本での日常生活では気づかなかった沢山のことに気づかせてくれました。私はこの貴重な経験を一生忘れないでしょう。

最後に、山本先生をはじめ、私たちに関わって助けてくださった方々にお礼を言いたいと思います。本当にありがとうございました。

中学生交流プログラムに参加して

東京都・港区立港南中学校 2年
新井 菜々美

私は今回のベトナムとの交流プログラムに参加したことにより変わったことがあります。それは、貴重な経験をさせていただく中で周りのことをより多く吸収しようという気持ちです。ベトナムに着いた初めの頃はすっかり観光気分になっていましたが、1日目が終わった時、24時間があまりにも短いことと

でも驚きました。そして、この観光客という視点を少し変えなければならないと思いました。そうしなければ1週間という期間はあっという間に過ぎていってしまうと思ったからです。これに気づけたことにより2日目からは、視界に入ってくるものだけでなく自分から興味深いことや日本とは違うことを見つけるということを心がけることができました。

ホストファミリーとの出会い。これが今回、私がベトナムへ行き、強く印象に残ったことの一つです。私のホストファミリーはみんないつも笑顔であたたかい家族でした。そして、日本から来た私に美味しいベトナム料理を作ってくれたり、サイクリングやショッピングに連れて行ってくれたりと色々な体験をさせてくれました。

これらはもちろんとても楽しかったし、普段日本では味わうことのできない貴重な経験ができてうれしかったです。でも私はそれ以上にホストファミリーの心の優しさに感動しました。それを一番実感できたのはホストファミリーとのお別れの時でした。さみしくて泣いてしまった私を同じ年のガンちゃんが一生懸命笑わせようとしてくれたり、ホストマザーは大丈夫だよとそばにいてくれました。そして、周りにいたそれまで話したことのなかった子も心配して肩に手をおいてくれました。これ以上周りの人に迷惑をかけないようにするためにも一回落ちつこう、と思いましたが、みんなの優しさがよけいに別れをつらくさせました。裏表のない心からの本当の優しさをくれたベトナムの人々との出会いは、これから先、大人になっても忘れません。

ベトナムに行く前は、この国のことを全く知りませんでしたが、ベトナムの人との交流を通して国のことを知るだけでなく、心のつながりができ、今ではぐっと親近感がわきました。そしてベトナムのことをもっと知り、周りの人に伝えたいと強く思います。

今では私にとってのベトナムは大事な人のいる特別な国です。

ベトナムを訪問して

神奈川県・カリタス女子中学高等学校 3年
小野 由美子

今、この作文を書きながら私は3か月前にも作文を書いたことを思い出している。それは書類審査のための作文で、思い返せばその頃の私は、今の私が見て聴いて感じて知り得たベトナムとは全く異なる印象を持っていた。例えば衛生面。私はまさかベトナムに水洗トイレがあるとは思わなかった。さらにロー

カルフードは危険だと思っていたが、実際、私はなにもかも美味しく食べることができ、お腹を壊すことなど一度たりともなかった。

フエの中学校訪問では、まず想像を超えた近代的な校舎に驚かされた。生徒達の大歓迎を受けながら教室へ入ると、そこには日本語の授業を熱心に受ける中学生の姿があった。私は日本の中学生にはない熱意に圧倒された。皆とてもフレンドリーで友達も沢山でき、良い思い出になった。

ハノイではやはりホームステイについて書きたい。ホームステイが初めての私にとっては不安というより緊張の方が先に立った。しかしホストファミリー（校長先生一家）と対面し、バイクに乗っているうちにいつの間にか緊張が解け、楽しんでいる自分がいた。ホストシスターのチャンとはすぐに打ち解け、英語が話せない両親との会話をいつも手伝ってくれた。ステイ中は毎晩ローカルな店や、ライトアップされた夜のホーチミン廟にバイクで連れて行ってくれて私は初めて四人乗りを体験することができた。

ハノイのバイク事情は知られている通り息をのむ程の数であったが、その隙間を縫って走りぬけるスリルは、経験した者でないとわからないだろう。私にとってはこのバイクの体験は一生忘れられないものとなった。

ハノイの中学校ではフエと同じように浴衣を着て茶道を披露した。反応はまずまずだった。逆に生徒たちが披露してくれたソーラン節と現地の踊りはクオリティが高く、とても感動した。

今回の研修を通して、異文化交流はとても大切なことだと身をもって感じ、「百聞は一見に如かず」だと思つづく思った。また9日間を共に過ごした7人の仲間との思い出は書ききれない程あるが、仲良く楽しく過ごせたことを感謝し、この縁を大切にしていきたい。

最後に、かめのり財団、IFAの方々、そして私達のことを率いてくださった山本先生に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました！カムオン！

中学生交流プログラムに参加して

東京都・桐朋女子中・高等学校 2年
川下 玲

私が一番心に残っていることは、3つあります。
一つ目はハノイにあるホーチミンのお墓です。大きな建物の中にはホーチミンのご遺体がきれいに展示されています。残念ながら私達がハノイに滞在してい

た時、メンテナンス中で見ることができませんでした。二つ目はフエにある中学校を訪問したことです。私達が中学校に着いた時、生徒は大興奮していました。日本人と交流できるのを楽しみにしていたそうです。授業中は積極的な子が多かったです。文化紹介は大盛り上がりしました。三つ目はホームステイのことです。ホストファミリーの人が全員親切で優しかったです。いい思い出をたくさん作ることができました。ベトナム人のふだんの生活を味わうことができました。特にバイクに乗ったことはずっと忘れないと思います。今回、私はベトナムに行くことができ本当に良かったと思います。またベトナムに来たいと思いました。

中学生交流プログラムに参加して

神奈川県立平塚中等教育学校 2年
佐藤 純

今回このプログラムに参加させていただいて日本では絶対にできない経験をたくさんさせていただきました。またバイクに乗るなどベトナムでホームステイをしないとできない経験もたくさんさせていただきました。

僕は、英語もまだあまりできませんが、さらに知らない言語の国に行くのは少し不安でした。しかし、かめのり財団さんをはじめ、国際フレンドシップ協会の方々、引率の山本先生や現地のガイドの方々のおかげで、不安もなく、楽しく安全に過ごすことができました。

ベトナムでは、歴史や伝統文化などをたくさん学ぶことでき、多くの友達をつくることができました。またベトナムの料理をたくさん食べ、日本食とベトナム料理の違いもたくさん見つけることができ、一生大切にしたい思い出がたくさんできました。ありがとうございました。

中学生交流プログラムに参加して

広島県・広島市立翠町中学校 3年
山藤 千穂

今回このプログラムに参加させていただいて、多くのことを学び、そして貴重な体験をすることができました。その中で中学校を訪問したことが特に印象

に残っています。中学生のみなさんと話をし、ベトナムと日本との違いを肌で感じました。また、授業に積極的に参加していることや日本語がとても上手なことに驚きました。

ベトナムで過ごした一週間は充実した日々でした。ベトナムの歴史や文化などを学んだこと、ベトナムの方々と交流したことは私にとって忘れることのできない思い出となりました。一緒に参加した団員との絆も深まりました。

ご指導してくださった山本先生、素晴らしい機会を与えてくださったかめのり財団、国際フレンドシップ協会の方々に感謝しています。今回経験を今後につなげたいです。

ベトナムへの研修旅行

広島県・広島市立庚午中学校 2年
ソロキン 路彦

僕は今回ベトナムへ行き、様々なことを学ぶと同時にテレビなどを見てはわからない貴重な体験をしました。まずはベトナムへ行く前日、マナーについて学んだときにはナイフやフォークなど世界へ行っても大丈夫な食べ方をフルコースを食べながら教わりました。他にもバッグの持ち方などの基本的なことから上級のことまで学びました。この日でベトナムに行っても大丈夫かなという不安がなくなりました。空港では団長の指導でスムーズに出国することができました。

ベトナムに着くと日本との違いをすごいと思うとともについに始まったなど思い胸がワクワクしてきました。まずはバスに乗って移動し、その日は市内の市場を歩きました。そのときに思わず「バイクが多い」とびっくりしました。テレビでも多いのは分かりますが目の前で見ただけで、今でも覚えています。初日から日本との違いが明確に出た瞬間でした。

一日、二日と過ぎてダナンへと飛行機で移動しました。その後フエへとバスで移動している途中にトイレ休憩している時、サッカーをしている人たちに僕とグエンさんと駿介が入って言葉も通じない中、楽しく遊びました。

次の日、ついに学校訪問がありました。フエの中学校でした。みんながすぐに話しかけてくれるなど、とても楽しかったです。文化紹介も上手にできました。フエの生徒ととても仲良くなりました。この中学校訪問はとても心に残っています。

フエからハノイに戻るとラストが近づいているなど思いつつ、楽しもうとも

思いました。僕の中で一番楽しみだったホームステイがハノイで最後に残って
いました。そのホームステイではベトナムの人々の生活や食べ物など、初めて
の連続でした。しかし、ためしてみることでその美味しさや生活の違いなど様々
な体験ができました。

今回でベトナムにもう一回行ってみたいとなりました。さらに文化交流もでき
ました。日本との違いも発見し色々なことを学ぶことができました。こんな体
験ができたことをみんなに伝え、ベトナムともっともっと交流ができるよう
になればいいなと思いました。

最後にかめのり財団の方々や団長、ベトナムの方々ありがとうございました。

中学生交流プログラムに参加して

静岡県・加藤学園暁秀中学校 3年
渡邊 駿介

僕は今回のベトナムへの研修で、文化や歴史などたくさんのことを学びまし
た。その中で特に印象に残っているのがベトナム人の日本人に対する思いです。

地元の中学校を訪れたとき、ベトナムの中学生は僕たちを熱烈に歓迎してく
れました。特にフエでは、耳が痛くなるほどの歓声で迎えてくれました。その
中学校の生徒との交流会ではたくさんの生徒が「私は日本が好きです」と言っ
てくれました。

でもなぜベトナム人は日本人が好きなのだろう、と僕は思いました。なので
ベトナムの教育省の方に聞きました。すると「ベトナム人は日本のしたひどいこ
とを忘れませんが、日本がベトナムのためにいろいろ尽くしてきたことも忘れ
ません」と話してくれました。僕はこのベトナム人の態度と雄大な心に感動しま
した。このような気持ちが大事なんだな、と改めて思いました。

これを学ぶことが出来、本当に良かったです。

本プログラムに情報提供ならびにご協力くださった皆様に
心より感謝申し上げます。

(順不同、敬称省略)

ベトナム

ベトナム 教育訓練省 国際協力局 Tran Houng Ly
独立行政法人国際交流基金 ベトナム日本文化交流センター
所長 稲見和己
職員 Vuong Lihn Chi
職員 藤田めぐみ
リ・トゥオン・キエット中学校 校長 Pham Kuan Binh
グエン・チ・フオン中学校 校長 Nguyen Huu BI
Galaxy Hotel F.O. Manager Truong Quyhn Mai
APEX VIET NAM Co., Ltd. 北川晃一
現地ガイド バウ
現地ガイド レー ホア グエン

日本

公益財団法人かめのり財団 理事・事務局長 西田浩子
公益財団法人かめのり財団 菊地佐智子
駐日ベトナム社会主義共和国大使館 参事官 ドバン チュン
近畿日本ツーリスト株式会社 次長 田村一浩
成田ビューホテル 宿泊支配人 斉藤浩文
成田ビューホテル 高橋直子

第5回中学生交流プログラム報告書

平成25年11月22日

実施・運営 一般社団法人国際フレンドシップ協会

〒106-0041 東京都港区麻布台 3-4-12

麻布台ロイヤルプラザ 502号

実施責任者 及川 伊佐子

電話 03(3582)3021 FAX 03(3582)3010

Web: <http://www.ifa-japan.org>